

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈禱院563 〒834-0025
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

クラッシーのバックナンバー(2010.1.1号より)がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

12 DEC

	日	月	火	水	木	金	土
1	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
	1 10月10日 先勝	2 11日 友引	3 12日 先負	4 13日 仏滅	5 14日 大安	6 15日 赤口
	べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	なんでも人権相談所 (矢部公民館)	なんでも人権相談所 (八女市役所星野支所) 春風亭小朝独演会 18:30~(サザンクス筑後)	弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館) (地域福祉センター)	青少年健全育成 ソフトボール教室 (ロッテグラウンド)
7 16日 先勝	8 17日 友引	9 18日 先負	10 19日 仏滅	11 20日 大安	12 21日 赤口	13 22日 先勝
年忘れウォーク (八女歩こう会)		無料弁護士法律相談 13:30~・要予約 (八女民主商工会) ☎ 24-2727 筑後市美術展 ~14日 (サザンクス筑後)	なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設) (立花市民センター) 女性のための相談所 1時~4時 (八女市社会福祉会館) (筑後市サンコア)		なんでも人権相談所 (地域交流センター)	クリスマスコンサート 15時~(おりなす八女) 市子連子どもの広場 (サンコア)
14 23日 友引	15 24日 先負	16 25日 仏滅	17 26日 大安	18 27日 赤口	19 28日 先勝	20 29日 友引
八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場)	べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円		社会保険個別相談会 10:00~16:00(八女商工会議所) 要予約 22-5161	弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎ 22-5161	人生史サークル黄檗の会 (福祉会館・矢部川城)
21 30日 先負	22 11月1日 大安	23 2日 赤口	24 3日 先勝	25 4日 友引	26 5日 先負	27 6日 仏滅
		天皇誕生日			お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿) (温泉館きらら)(べんがら村)	黒木大市 ~28日 (黒木町体育センター前イベント広場)
28 7日 大安	29 8日 赤口	30 9日 先勝	31 10日 友引	心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 12月3日・17日 黒木町ふじの里 12月3日・17日 上陽町地域福祉センター 12月10日・24日 立花町かがやき 12月10日・24日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 12月12日 黒木町ふじの里 12月19日 上陽町地域福祉センター 12月26日 司法書士相談 黒木町ふじの里 12月12日 八女市社会福祉協議会 12月19日 筑後市 心配事相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院		
八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場)						

木の葉ふり時雨るる雲の
 立ち迷う山の端見れば冬は来
 にけり” 南朝悲運の御村上
 帝の歌一首、偲ばれる暦は早
 や師走12月。▼齢を重ねる毎
 に書斎の書籍冊誌おびたぐし
 く少々整理をと思いたちなが
 らも手にとればそれぞれに懐
 旧哀惜の念。『城寨』と難解
 な題名の小冊歌集は義兄須藤
 実。本来の職は橋梁設計技師、
 工学博士。去年今年流るる
 如き時の間に生きてたよへる
 現身かなし。この義兄逝き
 て幾年か。今に、何処らの橋
 の設計であったか、また、歌
 詠みの動機など、訊きおれば
 と後悔の念。▼歌集『常歌』
 は元矢部小学校校長杉森彬先
 生。樹令はや四百年とう樅
 の木のつぎつぎ倒されゆくを
 寂しむ”(三国山)昭和30
 年の頃か、伐採後は杉の植樹
 多々。昨今では『地方消滅』(中
 公新書)にも該当しそうな杉
 の村里。▼黒木町文化連盟会
 長鍋島勝さんより、古野美智
 子先生著『山藤の咲く道』恵
 贈。(11/13)

感銘の一章は、五十年ぶり
 の再会”「私は平野小時代の
 先生の教え子です。やっと先
 生の住所が判り、同級生五名
 連れで伺います。」美智子先
 生教職スタートのへき地校。
 一年担任。師恩忘れずの半世
 紀を越えての対面。教えの
 庭にも、はや、いくとせ”
 あのメロディーがひびいてく
 るような「わが師の恩」。

天皇さまふり
 山の端見れば
 冬は来にけり
 詩人 椎窓 猛